

---

# HERO ' S。

催涙雨

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

HERO'S。

### 【Nコード】

N0080Z

### 【作者名】

催涙雨

### 【あらすじ】

HERO'S。

人を助け、情報を求める。

彼らの目的は一体なんなのか。

## プロローグ

「ねえ、知ってる？」

唐突に一人の少女が話を振った。

ファーストフード店で漫談に花を咲かせているのは一般の女子高生達だ。

平凡な容姿を無理に飾り立てた化粧は醜く 否 悍ましい

くらいで。

そんな彼女達の話に耳を傾ける者はおらず、おのおの 各々の世界に入り込んでいる。

ただ一人を除いて。

「何？」

携帯電話を片手でいじりながら興味なさそうに問う。

金髪で明らかに軽そうな少女は彼氏へのメールを怠そうに打っているくらいなのだから、

どんな話も面倒くさいだけなのだろう。

そんな様子の彼女を気にもせず、少女は続ける。

「最近さ、巷ちまたで騒ぎになってる人達が居るんだけど、」

その刹那。

「知ってる！！」

弾かれたように立ち上がった一人は、興奮気味に叫んだ。  
携帯をいじっていた少女も思わず視線を上げる。

「なんだ、ミナ。知ってるの？」

「当たり前じゃんか！あんなに有名なんだよ！？」

こっほん 基本情報！……えっとねえ、通称”HERO・S”って呼ばれてるんだけど、

彼等は窮地に追い込まれた人たちを助けてるみたい。……それ以外の情報は皆無。」

肺全ての呼吸を吐き出したような重い溜め息を少女は出した。  
その勢いのまま、ずるずると腰を下ろす。

「どっかに居ないかなあ？HERO・Sさん」

”HERO・S”……か。

重い腰を上げ、席を立つ。

適当に頼んだ飲み物を<sup>ほん</sup>殆ど飲まないまま、ゴミ箱に捨てた。  
外していたヘッドフォンを再度着用し、歩を進める。

華やかな街の”裏”には何が潜んでいるのかなんて誰も知らない。  
ただ”日常”と呼べる範疇<sup>はんちゆう</sup>は超えているものだろう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0080z/>

---

HERO ' S。

2011年11月30日17時55分発行